

巴海秘伝の四大ちゃんこ

たくさんのお客様にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。
今後も巴海会員様に楽しんでいただけるイベントを開催いたします。
ご期待ください。

**55名様に
純金カード進呈!!**

**完全制覇
スタンプ
ラリー**

終了御礼



本場両国の味! 「ちゃんこ巴海」の四大ちゃんこ

たちやま 太刀山ちゃんこ(醤油味)	くにみやま 国見山ちゃんこ(塩味)	やはすやま 矢筈山ちゃんこ(水炊き)	ともえがた 巴海ちゃんこ(みそ味)
角界を代表する醤油味で、霜降りのお肉中心のスタミナちゃんこ。 2,940円(一人前)	塩味のさっぱりしたコクのあるスープと絶品の鰯つみれ入りちゃんこ。 2,940円(一人前)	鰯のつみれと魚貝を用い、ポン酢で食するさっぱり味の食欲増進ちゃんこ。2,940円(一人前)	4種類の特製味噌をブレンドした2種類のつみれ入り寄せ鍋風ちゃんこ。 2,940円(一人前)

ちゃんこ巴海新聞

平成 25 年 7 月 1 日(月)
発行 工藤みよ子
編集 ちゃんこ巴海
東京都墨田区両国 2-17-6 TEL.03-3632-5600
第 007 号

感動の断髪式から1年 浅香山親方 元魁皇が語る今

ちゃんこ巴海の創業者である巴海(元小結)が九代目友綱親方を務めた友綱部屋は、数多くの有力力士を世に送り出している歴史と伝統のある部屋。そのひとりが史上最高の1047勝という通算勝利記録を打ち立て、惜しまれながら平成23年7月20日に引退した魁皇関(現・浅香山親方)です。



福岡県直方市出身で、初土俵は昭和63年3月、新入幕は平成5年5月。同期生には若貴兄弟や曙関があり、モンゴル出身の朝青龍関や白鵬関との闘いも注目を集めました。通算最多勝利だけではなく、幕内在位107場所、大関在位65場所という輝かしい記録を残した23年間の長い現役生活でした。

引退の際、魁皇関は「最高の相撲人生だった。悔いは一切ありません」という潔い言葉で土俵生活を締めくくっています。あれから1年余りが過ぎ、浅香山親方は今、親方として弟子の指導をしたり、相撲協会の仕事を担当したりと、多忙な日々を送っています。相撲界に入ってから25年経つ親方ですが、第二の人生をスタートさせてから初めて知ったこともたくさんあるそうです。
巴海新聞では久々に浅香山親方にご登場いただき、改めて長い相撲人生を振り返って、今だから話せる現役時代のエピソードや思い出の勝負、これからの親方としての夢などを語っていただきました。



浅香山親方(中央)と巴海社員 浅香山親方の右:巴海 女将 工藤みよ子

http://www.tomoegata.com

ちゃんこ巴海
ご予約 03-3632-5600
お問合せ FAX 03-3635-3056
〒130-0026 東京都墨田区両国 2-17-6
全 300 席 本館 130 席 新館 170 席
営業時間
平日 11時半~14時 17時 ~22時
土・日・祝日 11時半~14時 16時半~22時
※6月~8月は月曜定休



来たれ、若者!
**友綱部屋
新弟子募集中**
明日の横綱を目指す若者を募集しています。
詳細はホームページをご覧ください。
http://www.tomozuna-beya.jp/recruit/

検査合格基準
●身長 173 cm
●体重 75 kg 以上
●年齢 20 歳まで

夏巡業第2弾 早秋を味わいながら、伝統和楽器に酔いしれる
お箏演奏会
8月24日(土) 開催
~若手箏奏者による夢の共演~
日本の伝統楽器「箏」のオリジナル曲や親しみのある曲まで、幅広い音楽の世界をもつ「EcKoto Super Stars」。箏の音色を聴きながら、巴海自慢の料理を楽しみませんか。
※詳細はスタッフまでお尋ねください。

増田厚司
成田信人
竹谷公裕

三横綱五大関
(平成12年九州場所にて)



後列左から横綱 貴乃花・曙・武蔵丸
前列左から大関 雅山・千代大海・魁皇・出島・武双山

負けたから自分をみつめ直した 弟子には人を魅了する相撲を教えた!

**親方は現役以上に忙しい?!
趣味のラジコンと愛犬に癒されて**

引退して2年が経ち、現役の頃より楽になるかなと思っていました。意外と忙しいです。相撲協会の会合に出たり、九州担当になったので九州を歩き来したり、各々の場所が始まればテレビやラジオの解説、その他に雑誌などの取材もあります。親方衆もいろいろな仕事があるということがようやくわかるようになりましたが、まだまだ知らないことだらけ。これからは大変なんだろうなと思います。

普段は頭のどこかでいつも相撲のことを考えていますが、趣味に没頭している時だけは相撲のことをあまり考えていません。子どもの頃からの趣味で、ラジコンやプラモデル、それに車も好きです。ラジコンなどで遊んでいる時はストレス発散になります。それから可愛い小型犬トイプードルを飼っていますが、公式ブログにも登場しているのですが、ペットが一番の癒しですね。



にこやかな笑顔で語る浅香山親方



巴海 女将 工藤みよ子

15歳で入門。ツツの稽古を頑張りたのは地元応援があったから

相撲界に入ったのは中学校を卒業してすぐ、15歳の時なのですが、実はもともとは相撲取りになろうという気持ちではなかったんです。九州からも出たつもりはなかったのですが、地元で何かできたらいいなと思っていました。それがいつの間にか自分の意志と言ふより周りから推薦されて相撲界に入ることになりました。

入門翌日から午前5時には起きて、寒い中、まわし姿で稽古をしなければいけなかったのです。キツかったです。初めの頃は相撲のことも何もわからず、全知知らない年上の人と生活を共にしなければいけなくて戸惑いました。それまでの生活がまるで変わってしまった、全ての雑用やちゃんこ番など、今までやったことのないことばかりだった上、掃除や洗濯なども自分でやらなければなりません。初土俵は昭和63年の大阪場所、当時

魚が煮えすぎてポロポロのパサパサだったり…。私はちゃんこ番よりも「稽古をしる」とずっと言われていたのであまりやらなかったのですが、今ではもつとちゃんこ番をやっておけば良かったと思っています。巴海のちゃんこは美味しいので好きです。特にこの店で手作りしている秘伝のいわしつみれが好きですね。いわしのつみれは、普通はちよつと魚臭さがありますが、この店のつみれは魚臭くありません。魚が苦手な人でも食べられると思うくらいオススメできます。



左は奥様の禿子夫人

親方として弟子の夢を叶え、相撲ファンを増やしたい

親方になれたので、これからは弟子を育てることが一番の楽しみです。みんな夢を持って入ってくるので、その夢を少しでも叶えられるように指導してあげたい。今は外国人力士が多いですが、相撲ファンは日本人力士の活躍に期待しています。

大阪の宿舎はプレハブの大部屋でした。これはショックでしたね。部屋に入ったばかりの頃は「とんでもないところに来てしまった」と思っていました(笑)。でも地元の福岡でたくさんの方が応援してくれたのが有り難かったです。若い時から地元のテレビや新聞で取り上げられて、幕内上がった頃から自分が勝ったら地元で花火が上がるようになりました。やっぱり帰るところがあつて、帰ればみんなが歓迎してくれるのは良いです。相撲の世界に入っていなければ、こういう経験はできなかったと思います。



入門当時の初々しい姿

思ひ出の武双山戦。無様な負け方自分をみつめ直すきっかけ

現役時代の思ひ出深い取り組みは、平成12年初場所千秋楽でのライバル武双山との対戦です。その場所武双山は初優勝を目指して大関昇進の足がかりにする様な勢いがありました。



平成24年5月27日の断髪式 右は巴海の谷口総料理長

日本人力士は相撲がダメなら辞めて転職すればいいとか、実家に帰ればいいなどと逃げ場があります。でも外国人力士にはその逃げ場がありません。だから必死で稽古します。日本人もその稽古に対する姿勢は見習わなければいけないところもあると思います。「もつと日本人の力士ががんばれよ!」と言いたいです。

相撲は「土俵で魅せること」が大事。もつと力士に個性があつて人を魅了するような相撲を取れば、お客様さんも見に来てくれると思います。相撲部屋の稽古を見て力士たちと会った人は応援してくれるので、人と人とのふれあいを大事にして、もつとファンを増やしていきたいですね。

浅香山親方、ありがとうございました。普段は知ることが出来ない親方の別の一面も知ることができました。これからの活躍を心から願っています。

巴海 女将 工藤みよ子

一方、自分は7勝7敗で千秋楽を迎え、勝ち越せるかどうかでした。あの時の無様な負け方は、その後の相撲人生でも忘れることはできず、自分の中で相撲に対する様々な考え方が変わりました。それでも稽古はきちんとしていたのですが、それ以上に足りないものがあるんだらうと思ひ、自分を見つめ直しました。平成23年名古屋場所1047勝したのですが、その前に大横綱の千代の富士(現・九重親方)が打ち立てた記録1045勝に近づくに連れて報道がヒートアップ。あと1勝となった時にはとにかくすごかったですよ。だから現役最後の対戦となったのは琴欧洲戦で、自分の中では「ここで思い切つてやつて勝てなかつたら辞める時かな」と思つて引退を決意しました。

「ちゃんこ番よりも稽古」想像してゆたふりも厳心の現実

相撲部屋の食事は入門してからガツカリしました。入るまではお肉などをたくさん馳走してもらったので、「部屋に入ったから、きつと毎日こんなに美味しいものが食べられるんだ」と思っていました。ところが部屋に入ったその日から、部屋の人たちが突然厳しくなりました。若いうちは残りのものを食べなければいけないので、例えば魚のちゃんこ鍋の時は、



ちゃんこ巴海の
夏冷酒 飲みくらべセット
3種セット 1,050円

巴海厳選の3蔵元より、冷やが冴えるおいしい日本酒をご用意しました。ぜひお楽しみください。

- ◆藤井酒造(広島) 【酒の道 芳醇純米酒】
- ◆八鹿酒造(大分) 【三年古酒 純米大吟醸】
- ◆天寿酒造(秋田) 【鳥海山 純米大吟醸】

各種1合(1,050円~)からお楽しみいただけます。